

第二十五回

加藤真悟

明之會

令和五年五月五日（金・祝）

十二時二十五分始

（十一時半開場）

於・国立能楽堂

解説

表 きよし

仕舞

西行桜クセ

梅若万三郎

遊行柳キリ

観世 喜正

狂言

長光

野村 萬斎

能

芭蕉

加藤 真悟

主催 加藤真悟明之會

写真：梅若万三郎、撮影：前島写真店

【特別事前講座】 ゲスト：甲野善紀（古武術実践研究家） 申込は加藤真悟まで 電話&FAX 045(481)8704

日程：4月23日（日）午後2時から4時 会場：国立能楽堂大講義室 参加費：1,000円（当日チケット購入者は半額）

内容 ①『芭蕉』のあらすじと見どころ ②『芭蕉』の能面と能装束 ③舞は表現の頂点「序之舞」舞と無

④「舞の身体表現」対談&実技：甲野善紀&加藤真悟

第二十五回
加藤眞悟明之會

令和五年五月五日(金・祝)
午後十二時二十五分始
於・国立能楽堂

御挨拶 加藤 眞悟
解説 表 きよし
(国立能楽堂21世紀アジア学術部)

仕舞 梅若 久紀
西行桜 梅若万三郎
地謡 長谷川晴彦 伊藤 嘉章 八田 達弥 梅若 泰志

遊行柳 観世 喜正
地謡 中村 政裕 青木 一郎 梅若万三郎 中村 裕 遠田 修

長光

狂言 野村 萬齋
目代 飯田 豪 野村太一郎
後見 内藤 連

能 休題二十分
(午後一時三十五分)

芭蕉

大鼓 亀井 広忠
小鼓 幸 信吾
間 高野 和憲 松田 弘之

後見 梅若 泰志 梅若 紀長
地謡 梅若 志長 梅若 紀佳 青木 健一 古室 知也 伊藤 嘉章 伊藤 喜正 八田 達弥

主催 加藤眞悟明之會
(終了予定 午後三時四十五分頃)

さいぎょうざくら
西行桜 京の西山。庭に桜の名木があるため、観覧客が絶えない事を嘆く西行法師が桜の罪を歌に詠むと、夢の中に老桜の精が現れ、西行に真の仏法を説くのでした。仕舞では老桜の精が都の桜の名所を語り舞う場面が演じられます。

奥州で西行法師ゆかりの名木「朽木の柳」にたどり着いた遊行上人。眼前に現れた朽木の柳の精は柳にまつわる故事を語るのでした。仕舞では、上人に向けて報謝の舞を舞い別れを告げる場面を演じます。

ゆぎょうやなぎ
遊行柳 坂東方の男が大阪松本の市に出かける。賑やかな市を見物していると、男の太刀に目をつけ、たすっぽ(詐欺師)が近づいてくる。すっぽは隙をみて、太刀を自分の物のようにするが、気付いた男と言いつ争いになる。そこへ目代(代官)が仲裁に入り、それぞれに太刀の特徴を言わせる。すっぽは男の話を盗み聞いてなんとか対応するが、派手な身なりでいかにも悪そうな大衆のすっぽですが、実際の姿はいかに!? 二人の掛け合いをお楽しみ下さい。

ながみつ
長光 坂東方の男が大阪松本の市に出かける。賑やかな市を見物していると、男の太刀に目をつけ、たすっぽ(詐欺師)が近づいてくる。すっぽは隙をみて、太刀を自分の物のようにするが、気付いた男と言いつ争いになる。そこへ目代(代官)が仲裁に入り、それぞれに太刀の特徴を言わせる。すっぽは男の話を盗み聞いてなんとか対応するが、派手な身なりでいかにも悪そうな大衆のすっぽですが、実際の姿はいかに!? 二人の掛け合いをお楽しみ下さい。



野村 萬齋 (のむら まんさい)
昭和四十一年生。野村万作の長男。祖父故六世野村万藏及び父に師事。重要無形文化財総合指定者。「狂言」さる乃座「主宰。二歳で初舞台。東京芸術大学音楽学部卒業。芸術祭新人賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞台芸術賞、紀伊国屋演劇賞、芸術祭優秀賞ほか受賞多数。

ばしょう
芭蕉 唐土の楚國、小水の畔に山居して毎夜読経を行う修行僧(ワキ)。庵の陰でその読経を毎夜聴き、庵の陰でその読経を毎夜聴き、やがて現れた芭蕉の精(後シテ)は、春夏秋冬の移ろいに無常を感じ、月下の舞を見せませんが、秋風に露もろともに吹き散らされて、後には破れた芭蕉の葉が残るのでした。「雪中の芭蕉」とはあり得ないものの例えて、冬には枯れてしまふ芭蕉の葉と両立し得ない雪を、皇帝の命令により絵師が描いた故事により、日本独自の草木国土悉皆成仏の信仰による法華経の解釈、生命観を感じさせる演目です。

加藤 眞悟 (かとう しんご)
昭和三十三年生。故二世梅若万三郎及び三世梅若万三郎に師事。観世流準職分。日本能楽会会員(重要無形文化財 能楽の保持者)。昭和六十二年能楽養成会教習修了。平成二十五年新作能『将門』(梅若万三郎監修、小林保治作)、二十六年復曲能『真田』、二十八年復曲能『伏木曾我』、三十一年復曲能『虎送』、令和三年復曲能『和田酒盛』(共に梅若万三郎監修)の制作に携わり初演のシテを勤める。平成十一年より毎年自主公演「明之會」を開催する。「真調会」を主宰して愛好者に謡仕舞の指導をしている。主な抜曲『木賊』『鷲』『卒都婆小町』『三輪 白式神楽』『恋重荷』『安宅』『望月』『砧』『道成寺 赤頭』『石橋』『乱』等。(公財)梅若研能会理事、(一社)復曲能を観る会代表理事。(公社)能楽協会東京支部著作権関連委員。



能楽体験講座 日曜開催
『鶴亀』を謡ってみよう!

日時：令和5年5月7日、21日、28日、6月4日、25日
日曜日 全5回 午後1時~2時30分(初回は午後3時まで)

会場：神大寺稲古場(加藤自宅)
横浜市神奈川区神大寺
(横浜市営地下鉄片倉駅より徒歩5分)

費用：20,000円(全5回分)
教材費：4,180円(観世流初心譜本(上)五巻編)

※能公演等の都合により日程が変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

お申込み・お問い合わせ 045-481-8704 (加藤)

【お問合せ・お申込み】

入場料

指定席 S	10,000円
指定席 A	8,000円
指定席 B	6,000円
指定席 C	3,000円
学生割引	各1,000円引 (要証明書)



- 明之会チケットセンター 0120-240-540
- イープラス <http://eplus.jp/>
- 加藤眞悟 TEL/FAX 045(481)8704
ウェブサイト <https://katoshingo.com/>
- 梅若研能会 TEL 03(3466)3041



★オンライン有料配信(予定) 視聴料 3,000円 6月1日から30日、申込はカンフェティまで。
★ご支援のお願い 一口1,000円 第25回明之會「芭蕉」ポストカード進呈。
五口以上 第25回明之會「芭蕉」DVDを進呈 ※DVDのお届けは6月上旬頃になります。

「明(めい)友の会」入会のお願い 加藤眞悟を応援いただく皆様へ近況のご報告や演能会のご案内などお送りいたします。
入会金：1000円 年会費：1000円(毎年1月更新) 会員特典：明之會チケット割引、真通信配布、謡蹟めぐりへのお誘いなど。